

高め合う 教師集団

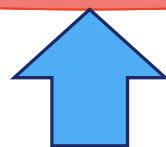


主体的に判断し

豊かに表現する子どもの育成

— 人・ものとのかかわりを重視した
金銭教育を通して —

**思考力 判断力
表現力**



対話力

自分の考えを根拠をもとにしっかり述べ、相手の意見もよく聞いて、より深く理解しようとしたり、よりよい考えをつくり上げようとする**質的に高め合う交流**

【研究の重点】

対象との対話

諸感覚に働きかける体験の重視
教材とのかかわらせ方の工夫

自己内対話①

言語活動の充実
自分と対話する時間の確保

他者との対話

目的をもって質的に高め合う場
の設定

自己内対話②

教科の特性をふまえた学びを振
り返る場の設定

昨年度までの成果

- 1 様々な体験や操作活動など，教材との出合せ方を工夫 ⇒ **学習意欲，自分で考える力の向上**
- 2 教科の特性に合った言語活動を工夫
⇒ **自分の考えを整理し，内容をより深く考える力，表現力の向上**
- 3 目的をもった交流の場を工夫
⇒ **課題解決や中身のある交流**
- 4 自己の伸びや変容の実感させる工夫
⇒ **自己の学びを実感し学習意欲の高まり**

課題

他者との対話

新たな考えを
作り出す

Aさんの
考え

Bさんの
考え

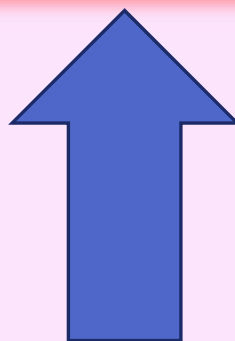
比較・関連づけ

初めの考えに
付け加える

自分の
考え

比較・関連づけ

異なる視点か
ら考え直す



児童の実態



【課題】

粘り強さや向上心
聞く力や伝える力
読み取る





そうじに使う道具



教室にある机・いす

金銭教育について

「**金銭教育**はものやお金を大切にする
ことを通じて、**お金や労働の価値を知り、感謝と自立の心を育てることによって、人間形成の土台作りを目指す教育である。」**

（金融広報中央委員会「金融教育プログラム：改訂版P 18＜金融教育と金銭教育＞より引用」



人

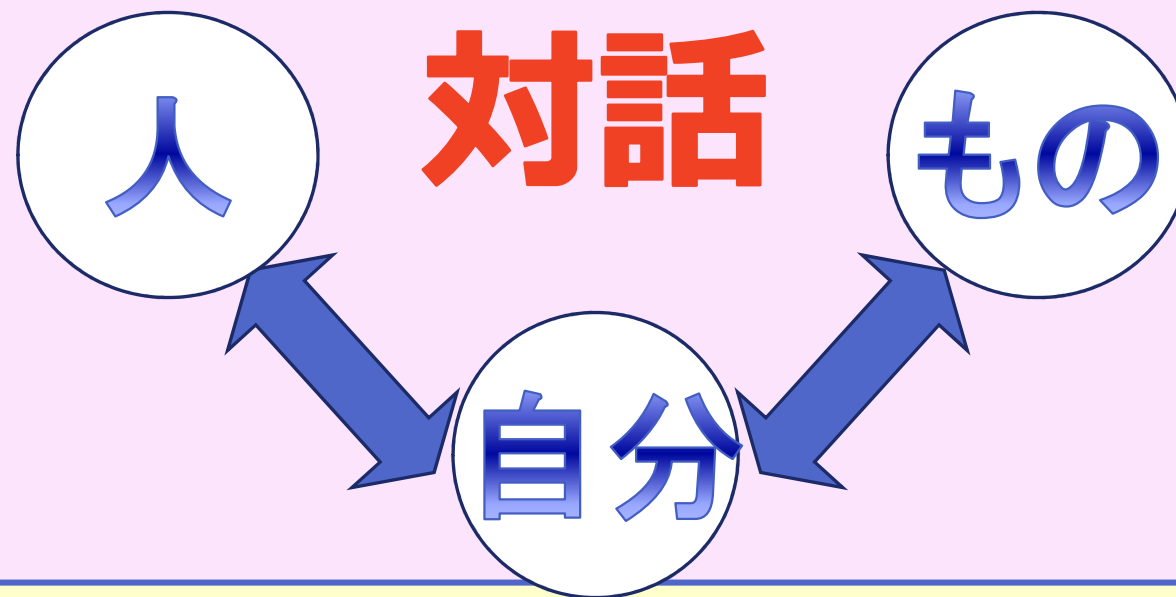
もの



自分



自分で判断し，
実践（表現）する態度を育てる



自分と人，自分とものとのかわ
りを，対話を通して学ぶ。

金銭教育でめざす子ども像

- ものやお金を大切にする子ども
〈ものやお金〉
- 人やものへの感謝の気持ちを素直に表し、自ら働く子ども
〈感謝・勤労〉

子ども像	ものやお金を 大切に子ども 〈ものやお金〉	人やものへの感謝の気持ちを素直に表し、 自ら働く子ども 〈感謝・勤労〉
低学年	・ものやお金の価値を知り，自他の持ち物を大切にすることができる。 ・欲しいものが手に入らなくてもがまんできる。	・身近な人やものに感謝の気持ちをもち，伝えることができる。 ・家の手伝いや係・当番活動を進んですることができる。
中学年	・ものやお金の大切さを理解し，適切に使うことができる。 ・欲しいものと必要なものの区別ができる。	・限りあるものやお金・資源に対して感謝の気持ちをもち，大切に使うことができる。 ・自分の仕事に責任をもち，進んで働くことができる。
高学年	・ものやお金には限りがあることを理解し，よりよい使い方を考える。 ・お金の使い方について，自ら節度を守り，意思決定ができる。	・様々な人々が自分たちの生活を支えていることを理解し，社会の一員として協力することができる。 ・みんなのためによいと思うことや役に立つことを考え，進んで働くことができる。

生活科 「ぐんぐんのびろ ～やさいさん 大すき～」

6 本時の学習指導			
(1) 目標 自分が育てている野菜の世話の仕方を振り返ったり、野菜作りに詳しい人の話を聞いたりすることにより、おいしい野菜を収穫するためにもっとできそうなお世話を考えることができる。			
(2) 学習指導過程			
学 習 活 動	意 識 の 流 れ	指導上の留意点と個への支援	
感 じ る ／ 考 え る	1 自分が育てている野菜の成長を振り返る。	苗から育てた自分たちの野菜は、 どんどん背が伸び、葉が増え花を咲かせたよ。その後にできた実はだんだん大きくなってきたよ。	・ 今までの野菜の成長がわかる写真を掲示したり、観察カードを準備したりし、自由に見られるようにしておく。 ・ 収穫できたもの、どのようにして食べたのかなを考えさせることにより、活動意欲を高める。
	2 自分のお世話の仕方を振り返る。	大好きな野菜がたくさんできたらうれしいな。 おいしい野菜を収穫するために、自分ができそうなことを知って、お世話に取り入れよう。 今までの自分たちのお世話の仕方を振り返ろう。 ・ 水やり ・ 草ぬき ・ 支柱を立てる ・ わき芽をとる ・ ひりょうをやる	・ キュウリ、オクラ、ピーマン、ナスのグループに分かれて、世話の仕方を振り返らせる。その際評価しやすいように、観点毎に評価できるようにワークシートを準備しておく。 ・ 自己評価など多め、友だちからの評価も参考にするように伝える。それでも、評価に迷っている児童には、助言する。 ・ 家で家族が野菜を作っている児童は、お世話の仕方や思いをお家の人にインタビューして答えてもらっておく。また、野菜先生からの伝言を手紙に書いてもらっておく。苦勞をして育て、おいしい野菜ができていることにも気付かせる。
表 現 す る ／ 振 り 返 る	3 もっとできそうなお世話の仕方を考える。	水やりや草ぬきをいつも進んでできていたよ。 なぜ必要かを考えてお世話ができていたよ。 誰かに言われないと、水やりもできていないよ。 あまり意味を考えると、言われたことだけしていたよ。 野菜を作っているおうちの人や野菜先生は、いろんな苦勞や工夫をして野菜を作っているんだな。 自分たちの野菜に活かせるような世話の仕方を話し合おう。 ・ 暑くなったらわらを敷くんだ。 ・ 虫がいたら予防をしたらいいんだ。 ・ 毎日2回、野菜の様子を見に行こう。水かけも必要であれば2回するよ。 ・ 野菜作りは大変だけど、一生懸命お世話をすればおいしい実ができそうだ。 ・ 愛情をもって命ある野菜を育てるためにしっかりお世話をしよう。	◎ 自分たちの野菜作りに、取り入れられそうな世話を考えるために、友だちと意見交換をする場を設ける。 ◎ 自分の反省や、友だちと話し合ったことをもとに、これからの世話の仕方を書く。
	4 本時のまとめをする。	今まで以上に野菜さんを大切に思っていて育てたいよ。 毎日続けるのは大変だけど、おいしい野菜を収穫するために、できるお世話を考えて、ちゃんと続けたいよ。	【ワークシート】 ◎の児童は教師と一緒に考えて考えたり、助言したりする。 ・ 本時に学習した内容をまとめることにより、今まで以上に野菜に愛着をもち、しっかりお世話をしようとする意欲を高める。

自己内対話①

自分の世話の仕方を振り返る

他者との対話

グループで、自分たちにできる世話の仕方を話し合う。

- ・ 暑くなったらわらを敷くんだ。
- ・ 虫がいたら予防をしたらいいんだ。
- ・ 毎日2回、野菜の様子を見に行こう。水かけも必要であれば2回するよ。
- ・ 野菜作りは大変だけど、一生懸命お世話をすればおいしい実ができそうだ。
- ・ 愛情をもって命ある野菜を育てるためにしっかりお世話をしよう。

- ・ 家で家族が野菜を作っている児童は、お世話の仕方や思いをお家の人にインタビューして答えてもらっておく。また、野菜先生からの伝言を手紙に書いてもらっておく。苦勞をして育て

自己内対話②

これからの自分の世話の仕方を書く。

毎日続けるのは大変だけど、おいしい野菜を収穫するために、できるお世話を考えて、ちゃんと続けたいよ。

自分が体を動かしてお世話をすることが、おいしい野菜作りに大切である。

道徳 「はたらきもののお父さん」

5 本時の学習指導			
(1) 目標 資料に登場する父親の姿から、働くことの意義や喜びに気付き、家族への尊敬と感謝の気持ちをもつことができる。			
(2) 学習指導過程			
学 習 活 動	意 識 の 流 れ	指導上の留意点と個への支援	
1 生活を見直す。	家の人はどんな仕事をしているのだろう。くわしくは分からないな。 家の人はどんな気持ちで仕事をしているのだろう。	・ 事前指導として、家の人の仕事について話し合い、時間をとって、中心価値への関心が高まるように支援する。	
2 資料を読んで学習課題をつかむ。	はたらくお父さんの気持ちを知って、自分が家族にできることは何かを考えよう。 一生懸命に働くお父さんを見て、「わたし」は何を思ったのだろう。	・ わたしのお父さんに対する思いが一番わかる言葉に赤線を引いて、気持ちが考えやすいように支援する。	
3 お父さんに対するわたしの気持ちを考える。	朝早くから働いているお父さんは、わたしたちのためにがんばっている。 20本も入った箱を運んでいるお父さんは力持ちだな。 額から汗があふれ出すほど大変な仕事なんだ。お父さん本当にありがとう。	・ お父さんへのわたしの気持ちが分かる3つの場面のうち1つについてグループで話し合い、グループごとに全体で発表する場を設ける。	
4 お父さんの気持ちを考える。	お父さんは誰のためにこんなに一生懸命に働いているのだろう。 お父さんは家族のみんなが幸せに暮らせるようにがんばっているんだ。 お店に買いに来てくれるお客さんにも喜んでほしいからお父さんはがんばるんだよ。	・ お父さんの気持ちが想像しやすいように、ワークシートに書き出しを用意する。	
5 わたしたちのために働いてくれている家の人に手紙を書く。	いつも大変なお仕事をして、わたしたちのために働いてくれてありがとう。 わたしはお父さんやお母さんにありがとうを伝える。 わたしも家族のために家の仕事を手伝うよ。 お世話になっている家族に感謝して、人のために仕事を進んで行くことが大切だ。これが今の自分にできることだ。	◎ 事前に家の人を書いてくれた手紙をいくつか紹介し、家族のため、人のために働いているお父さんやお母さんの気持ちを深められるようにする。 ◎ 手紙を書いてくれたお父さんやお母さんに、私たちのために働いてくれていることに対するお礼の手紙を書くことができる。 【ワークシート】 ◎の児童には、手紙の書き出しの例を表示したワークシートを用紙として、続けて手紙が書けるようにする。 ・ 手紙を書きながら、自分自身が家族のために何ができるかを考えるように声かけをする。	

他者との対話

グループで父に対するわたしの気持ちを考える。

朝早くから働いているお父さんは、わたしたちのためにがんばっている。

20本も入った箱を運んでいるお父さんは力持ちだな。

額から汗があふれ出すほど大変な仕事なんだ。お父さん本当にありがとう。

他者との対話

お父さんの気持ちを考える。

お父さんは家族のみんなが幸せに暮らせるようにがんばっているんだ。

お店に買いに来てくれるお客さんにも喜んでほしいからお父さんはがんばるんだよ。

◎ 事前に家の人を書いてくれた手紙をいくつか紹介し、家族のため、人のために働いているお父さんやお母さんの気持ちを深められるようにする。

自己内対話②

家の人に手紙を書く。

お世話になっている家族に感謝して、人のために仕事を進んで行くことが大切だ。これが今の自分にできることだ。

家族やクラスのために自分ができていることを考えて、働きたい。



輝くひとみ 夢いっぱい





すてきな笑顔があふれる陶小学校

